

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム ハーモニー (3F)	評価実施年月日	平成20年7月
評価実施構成員氏名	須藤 寛之 小笠原 ゆう子 十和田 礼子 上坂 陽子 佐藤 桂子 奥 五穂子 三上 純子		
記録者氏名	須藤 寛之	記録年月日	平成20年7月

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>昨年、外部評価で地域密着の理念の指摘を受け追加を行った</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>707内やエレベーター等に理念を掲示 理念共有がなされている</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>パンフレットに理念追加を行った 月1回の定期新聞にも理念を載せてみた 地域へは、今年度より町内会行事への参加を増やし、理解を深める働きを行っている</p>	○	<p>さらなる地域への理解を深める為、行事参加等を行う 管理者レベルはもちろんの事、スタッフも参加できるようにする</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>顔を見たらそれぞれが声をかけるようには意識されているが、気軽に立ち寄れるまでにはいたっていない。</p>	○	<p>夏祭りや地域の町内会などを通して、交流の機会を増やしていきたい。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>毎年行われている夏祭りや、今年度より町内会の廃品回収・祭りの手伝いなどに職員のみ参加し、基盤を作っている段階である。</p>	○	<p>現在は職員のみ参加にとどまっているが、入居者も含めた地域活動の参加を目指していきたい。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>現在町内会を通し、地域の高齢者にむけた施設の説明や認知症についての説明など行おうと検討中である。</p>	○	<p>町内会の方よりグループホームや老人保健施設などそれぞれの施設の違いや説明を詳しく欲しいと要請があり、検討中。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>理解し、改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>前年までは遅れがちで会ったが、平成20年度より2ヶ月に1度の定期開催を行っている。また、ホームの現況報告・地域への関わりの方法・外部評価・自己評価の必要性などを報告している。</p>		前年までにも行われていた新年会・夏祭りの参加に加え、ホーム内見学を兼ねた昼食会、流しソーメンや焼肉といった日常生活の中での参加を要請し、実施している。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>定期的に役所へ訪問を行っている また、役所等主催の勉強会への参加もしている</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>平成19年に内部研修として実施済み。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>平成19年に内部研修として実施済み。また、20年の研修なども随時受講されている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>管理者・計画作成担当者により、入退所時に行われている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情対策委員会を設け、またその内容を玄関先に掲示している。関連機関のパンフレットも常時玄関先に置かれ、入居者・家族の目にはいりやすいようにされている。	○	気がねなく、職員に訴えられるように雰囲気を作っていけたらと思う
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月1回の新聞で日々の暮らしぶりの報告や、面会や受診等の際報告を行っている		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情対策委員会を設け、またその内容を玄関先に掲示している。関連機関のパンフレットも常時玄関先に置かれ、入居者・家族の目にはいりやすいようにされている。入居時やプラン変更時等にも家族から意見等を伺っている		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関して、職員の意見や提案を聞く機会はほとんどない。また、職員も運営方法など理解不足のようである。	○	全職員にグループホームとは何かを、運営基準・介護保険法を含め勉強する場を設けたい。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	19年度よりも職員数を増やし、勤務延べ時間の確保を行った。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	離職や退職以外での職員の移動は現在行われていない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>毎年各職員に合わせた研修計画をたて、実行されている。研修内容は他のスタッフへも周知している</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>小樽GH協議会への参加はある 管理者レベルは交流の場があるが、スタッフまではいたっていない</p>	○	スタッフが交流を持てるよう、他グループホームへ訪問見学できるよう取り組んでいきたい
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>全く行われていない。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>全く行われていない。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前より本人、家族と話し合いを持ち、信頼関係作りを行っている 入居後も安心して暮らせるよう支援している</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前より本人、家族と話し合いを持ち、信頼関係作りを行っている 入居後も安心して暮らせるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時には、できる限り本人の望む生活ができるように聞き取りされている。また、当ホーム入居に限らず介護サービス全般においての本人に適したサービスを本人や家族の方に助言させていただいている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ホーム見学時には家族のみではなく必ず本人に来ていただけるように、お話している。また、自宅で利用していた家具を持ち込んで頂くなど、できる限り自宅に近いかたちにし、ホームになじめるように支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	理念に唱っているように、毎日一緒に過ごし、家族同様支えあって信頼関係作りを行っている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	行事等家族の方にも参加を呼びかけ一緒に楽しみささえあっている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居者、家族の思いを理解しより良い関係を築けるようにしている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	なじみの市場、スーパー、美容室等へ行ける様支援をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	孤立される事がないよう、その場の雰囲気を把握し話題提供等を行い明るい雰囲気作りを行っている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所後も家族等へ手紙や電話等を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り本人の希望に添えるよう支援をしている また家族も協力してくれている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の生活の中から生活暦等を聞き、過ごしやすいようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の申し送り等にて把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画は本人、家族の希望を元に、居室担当、計画作成担当を中心に作成しより良いケアを行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状況に応じその都度、アセスメントを行い、介護計画が見直しされている		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の記録はされている 細かな事でも申し送り等がされ、チーム全員が同じ対応をとれるようにしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居相談などの際に本人に適したサービスを検討し、地域包括センターや隣接のデイサービスの利用など広く検討されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の交番に災害時の協力の要請を行っている。また、地元中学生の職場体験学習の受け入れを行い、入居者の方との交流の機会となっている。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のほかのケアマネジャー・サービス事業者との話し合いは全く行われていない。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括センターは入居希望の際に関わるのみである。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族などの希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に往診に来てもらっている また、本人希望の病院へも行かされている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門の医師へ定期的に受診を行っている 状態に変化があれば、すぐ受診できるようにしている		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	隣接されているデイサービスに看護職員が勤務しており、必要時は相談している。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	本人が安心し治療に専念できるよう、ほぼ毎日面会へ行っている 退院にむけカンファレンスも開かれている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族はもちろん、各医療機関と連携を図り支援している チーム全員で支援されている		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	出来る事できない事の見極めは各医療機関と相談 チームでも話し合いを持ち取り組んでいる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	細部にわたり情報提供を行っている 電話等での介護のアドバイスをやっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個々を尊重した声かけを行っている 記録等テーブルに開きっぱなしの時もあったが、気をつけるようになってきた		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	生活の中で自己決定の場を作りだしているが、まだ全スタッフには浸透していない		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来る限り本人のペースで過ごせるよう支援しているが、希望に添えない時もある		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人希望の所へ行けるよう支援している		
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりに合わせ出来る事を手伝ってもらい職員と一緒にやっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	医師より特定の指示がなければ、本人の嗜好に合わせたものを提供させていただいている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々に合わせ支援をしている 軽度な体操や豆乳、牛乳、食物繊維等の使用を心がけている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一応曜日は決めているが、声かけを行いなるべく希望に添える形をとっている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	昼夜逆転にならないように配慮しながら、ご本人が休みたいときに休めるように支援されている。季節に合わせた寝具の交換も行われている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の残存能力に合わせた支援をしている それぞれが役割を持ち自信をもって過ごせるよう支援している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ほとんど管理しているが、数名本人で管理し買い物等できるよう配慮している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	出来る限り希望に添えるよう支援している		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	冬季はあまり行けないが夏場は色々な所へ行っている 各イベントへは家族参加呼びかけも行っている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に電話等されている 規制はない		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	笑顔、挨拶を忘れず行い、居心地よく過ごせるようにしている		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	前年の内部研修により理解されている		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関のみ自動ドアのスイッチが見えないところにあるほかは、日中鍵をかけることはない。夜間に関しては防犯の為、施錠されている。必要の際センサー設置している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	居室・フロア入り口のセンサーによりプライバシーに配慮されている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個々にあった環境整備を行い危険防止に努めている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	入居者の方個々に応じて対応されている。また、事故・災害時のマニュアルが作成されている。	○	月1回事故対策委員会を開催だが不定期になっているので、定期的に行えるようにしたい
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	普通救命講習において全職員受講済みである。また、消防訓練においても随時行っている。	○	受講等を行って特変時に備えているが、定期的に行っていないので、不安はある 定期的に行えるようにしたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練において行われている。また、地域の協力については、近くの交番に定期的に訪問し災害時の協力をお願いしている。運営推進会議においても、近隣住民の協力を要請している。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	状況に合わせ、本人、家族と話し合いを持ちリスク軽減に努めている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	申し送りをしっかり行い日々の生活を把握し変化があればすぐ受診等できるようにしている 情報の共有はしっかりなされ、職員が同じ支援をできるようにしている		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬については用法・用量・目的をファイルしている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	生活の中で出来る事 軽度体操や牛乳、豆乳等の水分や食物繊維等の摂取を心がけ支援している 必要な方には排便チェックを行っている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	個々に応じて、口腔ケアを行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々に応じ食事、水分形態の変更等を行っている		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	定時に除菌を行っている。また、感染症対策についてもマニュアルが作成されているほか、食中毒の時期には研修参加も随時行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具等は毎日定期的に消毒している 冷蔵庫内の食品チェックも行っている		チェック表を作成し取り組んでいる
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前にはテーブル、イス等を設置し天気のよい時はお茶等を楽しまれている	○	玄関前には花が飾っているが、個人の物であるので、施設として取り組んでいく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり、居心地のよい音楽を流したりしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	数箇所ソファを設置し、くつろげるスペースを確保している		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所の際に自宅にて使い慣れた家具の持込をお願いしているほか、足りないものはご本人・ご家族と相談のうえ用意している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度・湿度共に定時にチェック表に記入することにより調整されている。換気についても随時行われている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ、廊下等、手すりが設置しているが、まだ必要な場所がある	○	必要な箇所へ手すりの設置
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	各場所にわかりやすいようにしている 手作りカレンダーを作っている		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	テントを設営し、イス、テーブル配置 向かいのお寺へ散歩 建物裏には畑がある	○	畑の整備をあまりしないので、雑草が生い茂っている時あるので、定期的に草取りを行う

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	②数日に1回程度ある 受診等の際、スタッフが少なくなり忙しくなり、ゆったりさせない時がある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	②利用者の2/3くらい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	②利用者の2/3くらい 出来る範囲で支援しているが、出来ない事もある
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	③たまに 以前よりは増えてきているが、まだ少ない

V. サービスの成果に関する項目

項目	取り組みの成果
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	②少しずつ増えている 昨年より増えてきている 今年より町内会の行事に参加し理解を深めだしてきた
98 職員は、生き生きと働いている	②職員の2/3くらいが
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	②利用者の2/3くらいが
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	②家族等の2/3くらいが

【特に力を入れている点・アピールしたい点】